

平成30年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/>	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	北澤知子
		全体計画						経費区分		-		内線	3645
事務事業名	4298 健全育成推進事業												
所 属	300200 教育委員会事務局・子ども課												
施 策	02010800 児童・青少年健全育成の推進												
予算 科目	会計	01 一般会計											
	科目	100606 教育費・社会教育費・児童青少年総合対策費											
	事業	010000 健全育成推進事業											
事業目的						事業概要・効果							
未来を担う児童・青少年が自主性や社会性、協調性を身につけ、個性豊かにたくましく成長するため、子ども会・育成会を中心とする地域活動を支援するとともに、子育てセミナーや「家庭の日」普及実践活動を行い、家庭教育力の向上を図る。						家庭・地域の教育力を向上させるため保護者など大人を対象にした「子育てセミナー」を開催。 子どもたちの手による子ども会活動への支援。 各町育成会活動への支援。 児童・少年を対象としたスポーツ大会の開催。 少年・ジュニアリーダー養成研修会を行い、次の地域子ども会のリーダー（子ども会の役員など）となる子どもたちを養成する。							

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
子育てセミナーの開催、子ども会長会、子どもフェスティバルの開催、「家庭の日」作文・ポスター応募、少年球技大会の開催、少年・ジュニアリーダー研修の実施	子育てセミナーの開催、子ども会長会、子どもフェスティバルの開催、「家庭の日」作文・ポスター応募、子どもスポーツフェスティバルの開催、少年・ジュニアリーダー研修の実施
平成29年度 実績	平成30年度 予定
子育てセミナーの開催、子ども会長会、子どもフェスティバルの開催、「家庭の日」作文・ポスター応募、子どもスポーツフェスティバルの開催、少年・ジュニアリーダー研修の実施	子育てセミナーの開催、子ども会長会、子どもフェスティバルの開催、「家庭の日」作文・ポスター応募、子どもスポーツフェスティバルの開催、少年・ジュニアリーダー研修の実施
平成31年度 予定	平成32年度 予定
子育てセミナーの開催、子ども会長会、子どもフェスティバルの開催、「家庭の日」作文・ポスター応募、子どもスポーツフェスティバルの開催、少年・ジュニアリーダー研修の実施	子育てセミナーの開催、子ども会長会、子どもフェスティバルの開催、「家庭の日」作文・ポスター応募、子どもスポーツフェスティバルの開催、少年・ジュニアリーダー研修の実施

指標名	子育てセミナーの参加者数				
算式	年間参加者数				単位 人
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標	-	-	-	1,500
	実績	1,603	2,115		
指標選定の理由	地域の自主的な開催を支援し、地域で関わる気運の醸成を図る。				
最終年度目標の根拠	少子化による全体の子育て世帯の減少も考慮する中で参加者増加に向けて設定				
指標名					
算式					単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成29年度 決 算	平成30年度 予 算
事業費		14,260	15,125
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		14,260	15,125
人員数(人)	正規職員	0.8	0.8
	嘱託職員	0.8	0.8
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	5,719.2	5,719.2
	嘱託職員	2,212.8	2,212.8
	臨時職員	0.0	0.0
	計	7,932.0	7,932.0
市民一人当たりの経費		0.4	0.4
総額		22,192.0	23,057.0

(単位：千円)

平成29年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	431	子育てセミナー講師・子どもスポーツフェスティバル・子どもフェスティバル・家庭の日作品等にかかる協力等謝礼352、記念品79
11節 需用費	447	消耗品108、食糧費43、家庭の日作品集等印刷296
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	7,560	子ども会育成連絡協議会負担金177、育成活動交付金7,383
その他	5,822	人件費

(単位：千円)

平成30年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	629	子育てセミナー講師・子どもスポーツフェスティバル・子どもフェスティバル・家庭の日作品等にかかる協力等謝礼531、記念品代98
11節 需用費	543	消耗品費108、会議等食糧費100、資料・チラシ・作品集等印刷代335
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	7,741	各町育成会活動交付金7397、県・地方子ども会負担金178、運動施設補助金166
その他	6,212	人件費

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	普通
評価コメント	子どもの健全育成は、法的に定められた必要な事業ではない。しかし、次世代を担う子どもの育成は、地域にとって必要であり今の大人の責任でもある。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	「子育ては家庭教育が原点」という原則があるとおり、子どもを取り巻く環境によって大きく有効性が変わる。個々の家庭の実状や環境により、いくら行政として事業をしても、関わってくれない現実がある。熱心に関わってくれる人もいるが、関わってくれる人をどうやって増やすかが課題。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや向上
評価コメント	有効性と効率性は相反し、参加者を増やそうとすると、きめ細やかに行う必要があるため効率は悪くなる。子育てセミナーの地区単位の統合開催やスポーツフェスティバルの合理的な運営など、効率化を進める。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

少年球技大会を子どもスポーツフェスティバル(ドッジビー交流会)にし、子どもたちの拘束時間を減らしたことで、会場ごとに集合・解散することにした結果、参加する町(チーム)数は増えた。
 子育てセミナーは、地区単位の統合開催をすることで参加人数は増えるが、参加者は圧倒的に母親が多く、父親にも参加してもらうにはどうしたらよいかが課題。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
家庭・地域での子育て力の低下、スマートフォンの普及等によるコミュニケーション不足や犯罪被害の危険など、子どもの健やかな成長を妨げる社会構造の中で、地域活動を支援すると共に家庭教育力の向上を図っていく必要がある		セミナーや研修を実施しても、参加して欲しい家庭の参加は少ない。工夫が必要。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	